

「2024年度における外国人生徒・中国帰国生徒等の高校入試特別措置・特別入学枠等」調査票 2023年度実施

外国人生徒・中国帰国生徒等の高校入試を応援する有志の会

<基本情報①(自治体情報)>

都道府県市名 政令都市・中核都市名	岐阜県		
高校入試 担当部署名	岐阜県教育委員会 高校教育課 高校総合支援係		
TEL	058-272-1111(内線8655)	FAX	058-272-2822
URL	https://www.pref.gifu.lg.jp/site/edu/3464.html		

<基本情報②(担当した有志の会メンバー情報)>

調査担当者名	各務真弓 (所属: NPO法人可児市国際交流協会)
--------	----------------------------

<全国一覽掲載情報>

	I 全日制高校について						II 定時制高校について					
	A.外国人生徒		B.中国・サハリン帰国生徒		C.海外帰国生徒		D.外国人生徒		E.中国・サハリン帰国生徒		F.海外帰国生徒	
	A2-1.措置	A3-1.枠	B2-1.措置	B3-1.枠	C2-1.措置	C3-1.枠	D2-1.措置	D3-1.枠	E2-1.措置	E3-1.枠	F2-1.措置	F3-1.枠
1. 設置されているか(2-1、3-1と一致)	×	○	×	△	×	○	×	×	×	×	×	×
2. 国籍要件の有無(一部条件がある場合は備考に記入)	外国籍生徒のみ		一部条件あり		日本籍生徒のみ							
3. 定員の確保がされているか(3-5の記入欄番号①②から1つ選択、枠がない場合は無記入)	②定員外		②定員外		②定員外							

I 全日制高校について

		A.外国人生徒	B.中国・サハリン帰国生徒	C.海外帰国生徒
1.2023年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択		有	把握せず	有
2-1.2024年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記		×	×	×
2-1の名称				
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記				
2-2.滞日年数制限				
2-3.措置の内容				
2-4.2023年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択		把握せず	把握せず	把握せず
3-1.2024年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学枠の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記		○	△	○
3-1の名称		外国人生徒等に係る入学者の選抜	日本国籍:帰国生徒等に係る入学者の選抜 外国籍:外国人生徒等に係る入学者の選抜	帰国生徒等に係る入学者の選抜
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			日本国籍:帰国生徒等に係る入学者の選抜 外国籍:外国人生徒等に係る入学者の選抜	
3-2.滞日年数制限		外国における生活が継続して2年以上で、入国後3年以内	日本国籍:外国における生活が継続して2年以上で、帰国後2年以内 外国籍:外国における生活が継続して2年以上で、入国後3年以内	外国における生活が継続して2年以上で、帰国後2年以内
3-3.入学枠のある学校数/全学校数		63/63	63/63	63/63
3-4.学校名		全ての岐阜県立高等学校 (市立高等学校も含む)	全ての岐阜県立高等学校 (市立高等学校も含む)	全ての岐阜県立高等学校 (市立高等学校も含む)
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)			
	②定員外(枠外)	入学定員とは別に、各校3名程度	日本国籍:帰国生徒等に係る入学者の選抜 外国籍:外国人生徒等に係る入学者の選抜 それぞれの選抜方法で入学定員とは別	入学定員とは別に、各校3名程度
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択		×	×	×
3-7.試験内容		第一次選抜学力検査について、5教科(国・数・英・理・社)を、外国人生徒等に係る入学者の選抜では、国・数・英(放送を聞いて答える問題を含む)並びに面接及び小論文とする。ただし、高等学校長の定めるところにより、第一次選抜学力検査に代えて、各学校で作成する外国人生徒等学力検査を実施することができる。音楽科及び美術科においては、さらに実技検査を実施する。	日本国籍:第一次選抜学力検査について、5教科(国・数・英・理・社)を、帰国生徒等に係る入学者の選抜では、国・数・英(放送を聞いて答える問題を含む)の3教科並びに面接及び小論文とする。音楽科及び美術科においては、さらに実技検査を実施する。 外国籍:第一次選抜学力検査について5教科(国・数・英・理・社)を、外国人生徒等に係る入学者の選抜では、国・数・英(放送を聞いて答える問題を含む)並びに面接及び小論文とする。ただし、高等学校長の定めるところにより、第一次選抜学力検査に代えて、各学校で作成する外国人生徒等学力検査を実施することができる。音楽科及び美術科においては、さらに実技検査を実施する。	第一次選抜学力検査について、5教科(国・数・英・理・社)を、帰国生徒等に係る入学者の選抜では、国・数・英(放送を聞いて答える問題を含む)の3教科並びに面接及び小論文とする。音楽科及び美術科においては、さらに実技検査を実施する。
3-8.2023年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択		把握せず	把握せず	把握せず
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2023年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入		外国人生徒等に係る入学者選抜に 出願10名 うち合格9名		帰国生徒等に係る入学者選抜に 出願11名 うち合格11名

II 定時制高校について

	D.外国人生徒	E.中国・サハラ以南帰国生徒	F.海外帰国生徒
1.2023年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択	有	把握せず	把握せず
2-1.2024年度的一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記	×	×	×
2-1の名称			
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
2-2.滞日年数制限			
2-3.措置の内容			
2-4.2023年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択	把握せず	把握せず	把握せず
3-1.2024年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学枠の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記	×	×	×
3-1の名称			
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記			
3-2.滞日年数制限			
3-3.入学枠のある学校数/全学校数			
3-4.学校名			
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)		
	②定員外(枠外)		
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択			
3-7.試験内容			
3-8.2023年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受検(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択	把握せず	把握せず	把握せず
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2023年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入			

Ⅲ 高校入学後の状況

1-1.日本語指導が必要な生徒に対して、入学後の日本語や教科の支援(補習等)にかかわる当該自治体の施策の有無 ※有・無から1つ選択	有	
1-2.有の場合、その施策の具体的な内容 ※該当する項目にチェック	<input checked="" type="checkbox"/>	A.教育課程に位置づけられた日本語授業(特別の教育課程、学校設定科目、個別対応授業など単位として認定されるもの)の実施
	<input checked="" type="checkbox"/>	B.教科学習において個別対応や習熟度別の授業を実施
	<input type="checkbox"/>	C.母語(継承語)保持のための授業の実施
	<input checked="" type="checkbox"/>	D.担当教員の加配
	<input checked="" type="checkbox"/>	E.日本語の授業などの講師や支援者の雇用
	<input type="checkbox"/>	F.母語(継承語)の支援のための講師や支援者の雇用
	<input checked="" type="checkbox"/>	G.その他外部支援者(コーディネーターなど)の雇用
	<input checked="" type="checkbox"/>	H.日本語指導が必要な生徒を対象としたキャリア教育(出口支援)
	その他の施策	ポケットークの貸出
上記に該当する実施校の校数等		
補足事項		
2-1.「1-2のA」において特別の教育課程での日本語授業を行っている?	いない	
2-2.行っている場合、実施校数、実施高校名		
2-3.行っていない場合、今後、教育委員会として実施計画はあるか?ある場合は、その実施予定年度、予定高校数など	有	学校設定科目で対応しているため特別の教育課程は行っていないが、特別な教育課程が実施できるような環境は整っている。
3.自治体の施策ではないが、各学校で個別に実施していることがあれば記入		
4.2023年度の入試において、海外で中学相当(学校教育における9年の課程)を修了し、来日後直接高校受検(受験)した者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合はその人数も記入	把握せず	
5.2022年度中に、直接来日後による編入学生の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合は、その人数も記入	把握せず	

IV日本国内にある外国学校からの入学について		
	↓記入欄	備考
1-1.各種学校の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受験)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	×	中卒認定試験の合格を以って認めている。
1-2. 1-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学者選抜の受験(受験)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)		
2-1.各種学校ではないが、本国政府の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受験)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	×	中卒認定試験の合格を以って認めている。
2-2. 2-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学者選抜の受験(受験)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)		
3.上記のⅠⅡ特別措置と入学枠での滞日年数制限について、日本国内にある外国学校の在籍期間は、日本での在在期間に含むか否か ※日本での滞在期間に含むは「含む」、滞在期間に含めないは「含めない」のいずれかで記入	含む	
4.外国学校の中等部の卒業生について、2023年度入試において受験(受験)希望があったか ※あった場合「有」を記入、備考にその人数を記入。なかった場合は「無」を記入。把握していない場合は「把握せず」	把握せず	

V 調査した人からのコメントや関係者の皆さんへお知らせ
 ※各地域を担当されている皆さんだから知っている地域情報を、皆さんの視点からご記入いただきたいです。
 「他地域から皆さんが担当する地域に引越し予定をしている中2の外国人生徒とその保護者に伝えたい情報」という想定で、いずれも公開されている情報について、ご無理のない範囲で、ご記入ください。

<p>1.日本語指導が必要な生徒の状況について、支援者の立場から、高校受験(受験)や高校進学に困難なケースや高校入試及び入学後の支援に関して課題と感じていること 高校入試や高校入学後の支援に関して、教育委員会や高校に期待すること</p>	<p>(多文化子どもエデュニホ☆nico) ・岐阜県は、公立高校全般、定員数に余裕があるため、進路決定時に、外国人生徒のキャリアを考えて多様な選択ができるはずであるが、現実には、瑞穂市では外国人生徒の進学実績のある数校に集中して進学指導がされている。・瑞穂市では、外国人生徒数が多い学校と散在での手持ち情報に格差があり、散在の教員が他校の日本語指導者や学習支援員、ボランティアから支援を受けている。・瑞穂市では、市教委が、外国人生徒の進学後の追跡調査をしておらず、退学率や高校入学後の生徒の様子を知るデータがない。高校進学を断念した生徒や、高校中退後に再度学業を再開したい外国人生徒を支援する場所がなく、個々のボランティアの支援に頼っている (関市国際交流協会わかき教室) ・本県は特別枠は来日3年以内とされているが、特に非漢字圏から来日した生徒にとっては漢字のハードルが大変高い。3年以上の生徒でも外国人学校から地元の公立学校に入った生徒が同様な困難を抱えている。 ・地域により「定員枠」「特別措置」が異なっている。外国につながる生徒(日本国籍も含め)にとってどのような受験制度が最善か、改めて国で検討し平等なものにしてほしい。 (NPO法人可児市国際交流協会) ・コロナの影響などで日本で中3にあたる学年を終了していない子どもたちが来日を始めており、義務教育年齢を超えていることを理由に中学校に入れず、本県には夜間中学校もないために高校入試の受験資格を得るため中学校卒業程度認定試験を受けなければならないが、この中卒認定試験の合格ハードルが非常に高く、年齢相応の学力の持ち主でも日本語が壁となり合格ができない。受験者の多くが中卒認定試験のために2年以上を費やし、その末に高校進学を諦めているため、早急な対応が求められる。 ・日本の中学卒業年齢を超えてGrade9まで修了せずに来日する外国人の場合、市の過年度生対応にて中学校に入り卒業資格が得られれば、高校入試資格が可能だが、中学校に入れてもらえない場合は中卒認定試験が必要となる。何年挑戦しても合格できなかつたり、途中で挫折するなどして、高校進学をあきらめる状況にある。夜間中学がない現状としては、Grade9過年度未修の過年度生の中学受け入れが必須となることを願う。 ・加茂地区では日本語指導が必要な生徒を想定されているのは、東濃高校と加茂高校定時制の2つのみ。外国人の入学や教育カリキュラムを考える学校が増えることを期待する。 ・岐阜県の高校入試は本年度より、「外国人生徒選抜受験資格承認願」の添付書類として、外国人出入国記録マスタの写しが必要となった。それを入手するための保有個人情報開示請求書は日本語しかなく、入手までに約4週間かかる。そのあたりをサポートを要する外国人の方もいると考える。 ・定時制高校の選択肢が少ない。 ・日本生まれや日本語がよく話せる生徒も通訳やサポートのある高校に希望が集中しており、来日間もない生徒にとって通いやすい高校の倍率が高くなっている。特別枠を含む定員数を増やしたり、他の公立高校でもサポートなど対応し、幅広くどの高校も選択できるようになってほしい。 ・高校入試で、ルビをつけるなどの対応。作文や面接を、日本語だけでなく母語でその生徒の力や気持ちを図れるような対応。 ・岐阜県は、枠はあっても措置がないので、ルビつき、時間延長や辞書持ち込みなどの措置を検討してほしい。 ・英語で学べる学校を増やしてほしい。日本語だけで評価するのではなく、持っているスキルとしての母語・継承語の評価も含めてほしい。 ・枠の設定とともに高校進学後の支援も広げてほしい。進学率が上がることは喜ばしいが、退学率も上がらないような支援や対策が必要。</p>
<p>2.日本語指導が必要な生徒を受け入れている私立高校の情報や課題など</p>	<p>・日本語支援を必要とする外国人家庭の経済状況を鑑みて、私立の学校に関する支援は積極的にには行っていない。支援対象からの要望等があれば個別対応を行うが、学校ごとに情報が異なるため、現状対応が非常に難しく、効率よく情報収集できる術が欲しい。 ・岐阜第一高等学校、・聖マリア女子高等学校・クラーク記念国際高等学校・清陵高等学校 ・中京高校</p>
<p>3.外国人生徒の高校入試などについて、近くで相談できるところ ※担当地域内の団体名やURLなどを記入ください</p>	<p>ぎふ外国につながる子どもの教育を考えるネットワーク ・NPO法人可児市国際交流協会(可児市) ・NPO法人美濃加茂国際交流協会(美濃加茂市) ・多文化子どもエデュニホ☆nico(瑞穂市) ・(公財)岐阜市国際交流協会(岐阜市) ・日本語教室「貼の会」(岐阜市) ・NPO法人CAPCO(大垣市) ・恵那市国際交流協会(恵那市) ・認定NPO法人まちづくりスポット(高山市)</p>
<p>4.多言語による関連情報 ※担当地域の自治体やNPOなどで公開されているものがあれば、URLなどを記入ください。</p>	<p>https://www.pref.gifu.lg.jp/site/edu/61428.html</p>
<p>5.公立高校入試の特別措置や特別入学枠の設置のこれまでの経緯 ※〇〇年に特別措置が導入された(その内容)、〇〇年に特別措置が改善された(内容)、〇〇年に特別入試枠が導入された(内容)、〇〇年に特別入学枠の校数が〇校になった。・・・などのこれまでの経過について、わかる範囲で簡潔にご記入ください。詳しい内容が掲載されているホームページがあれば、記載してください。</p>	
<p>6.その他 ※「こんな情報もあるよ!」ということ、メッセージや助言などがあれば、調査した人からの目線でぜひご記入ください。なお、そのままホームページには掲載致しません。</p>	<p>岐阜県教育委員会では、可児市教育委員会が実施してきた多言語での進路ガイダンスを、昨年度は可茂地区にリモートで3日にわたり実施した。 今年度は、可茂地区に加え、岐阜・西濃地区、東濃・飛騨地区にそれぞれ広げて実施した。 ・外国人生徒を多く受け入れている東濃高校では、国際クラスがあり「日本語」の授業の見直しがあり生徒の持つすべての言語力を活用した授業に取り組まれている。</p>